

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

創刊

大日化成株式会社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

アスベスト除去工事には・・・



水ゲル型アスベスト除去用

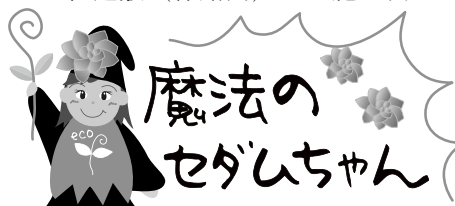
湿潤材ベストール

こんなところで活躍しています

緑化でヒートアイランド現象の緩和に
貢献しています。



大日化成の薄層緑化システム
軌道敷（線路内）への施工例



待ったナシ！の環境問題！

「地球温暖化」という言葉の意味は、今は小学生も知っているほどになりました。しかし一方で、この問題については規模が大きな話題すぎて「身近な問題」としてとらえにくいのも事実です。

では現在の地球温暖化は、どこまで進んでいるのか、と言いますと、旭硝子財団が人々の環境意識を元に設定している「環境危機時計」では、2007年に9時31分と、地球の歴史上ではこれまでに最も針が進んだとされています。

環境危機時計



きわめて不安



かなり不安

事実、今年の夏は各地で猛暑や豪雨が続きただけでなく、気候変動は農

作物に悪い影響を与えています。海流にも著しい変化が起きているのか、各地の漁港では水揚げされる魚の種類も激変しているそうです。

日本国内だけでなく世界的にもまさに待ったナシの地球温暖化ですが、私たちにとって頭が痛いのは画期的な解決方法がまだ見つかっていないということです。CO2排出削減のため、ガソリンの代用にバイオ燃料を使い出すと、それが穀物価格の高騰を引き起こし、食費を直撃するなど、新たな問題も一気に浮上し、地球温暖化というものが、実

は私たちの身近な生活に様々なトラブルを引き起こしていることがわかります。今、建築の現場では、地球環境を良くしようと各方面でも多彩な取り組みがされていますが、大日新聞では、今後、環境問題やエコ関連のニュースを軸に、楽しく読める話題性豊富な情報を季刊誌としてお届けして参りたいと考えております。

※環境危機時計
世界各国で環境問題に携わる政府や民間の有識者を対象に「地球環境問題と人類の存続に関するアンケート」を実施し回答者が人類存続に対して抱く危機感を、時計の針で表示するものです。

飲料水用途が可能ならえ
クラックにも強い防水材
ビッグサン新GRG工法！
平成16年の厚生労働省・技術基準省令改正後に、約3年の時を経てようやく開発された業界待望の土木用防水材です！

現在、浄水場や飲料水用の水槽で最も多く使われているのは、日本水道協会JWWA K143の規格に適合したエポキシ系のライニング材ですが、耐薬品性にすぐれている反面、耐クラック性や耐塩素性に多少の問題を有し、新しい弾性型のライニング材の開発が期待されていました。そんな中、今年5月によりやく大日化成が



飲料水用途でも使用が可能
なポリマーセメント系塗膜防水材として
「ビッグサン新GRG工法」の開発に成功しました！
この製品は、日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）PB1仕様にも適合して

おり本年5月の発売開始以来、環境に配慮する施主や業者からも大好評！
この土木用防水材ビッグサンの主な特長は、
●水道施設や浄水施設建設などの飲料水用途に使える。
●下地が湿潤な状態でも施工ができ、工期短縮が図れる。
●コンクリートはもちろん、鉄板、ステンレスなどにも優れた接着性を発揮する。
●段差などの複雑な場所もカンタンに施工できる。
●コテ作業の作業効率の向上。
●使用材料はすべて水系材料で有機溶剤を一切使用しないため、ピット内等でも中毒の危険がなく、安全に作業が行える。・・・などがあります。

商品の詳細につきましては大日化成、田中迄お気軽にお願いいたします。

BIG SUN <建築用防水材>



エコマーク認定商品

BIG SUN <土木用防水材>

ポリマーセメント系塗膜防水材



厚生省令第15号及び
厚生労働省令第5号の浸出試験適合製品

V.U.S <ベジルーフ・ユニット・システム>

屋上緑化を手軽に実現！



木製スーパーカーが公道を走る！



「木で作った自動車があるよ」と言われても、それが公道を走る本格的なスーパーカーだなんて想像もつかないものですが、木材どころの岡山県真庭市にある業者が、地元産材を使った自動車を開発しました。

開発したのは岡山県の佐田建美で、自動車には地元市名の「真庭」をそのまま命名。エンジンには175CCを搭載し、曲線多用した車体は幅1・3メートル、長さ2・5メートル、高さ1・1メートル。金属でフレームを作り、ボディは堅く粘りのあるタモの合板材を使用。内装には地元産タモの木

と柱目のヒノキを使っています。ドアは上に開くスポーツタイプで、後輪二輪が駆動する三輪車のため定員は3人。ナンバーを取得、普通免許で運転できる本格派。

しかもナント、約390

万円で受注生産も行

うこと

です。

実は

佐田建

美は車

メーカーで

はなく、

普段は

家具や

建具を

つくっている家具製造販売

業者。

しかし緑と木材に恵まれ

た日本でありながら、近年

は家具や建具、建築が洋風

化し、合板や鉄、コンクリー

トが多用されるようになり



ました。

そんな中、意気消沈していても仕方が無い、と「木でどこまでつくれるのか」木の、素材としての可能性を「木製スーパーカー」づくりを通して追求し「木でつけない物はない」を合い言葉に、家具工場の木工職人が試行錯誤を重ねてつくり上げたのです。

後部座席に

はヒノキの柱

目板を使い、

フロント部分

に円形の組子

細工、さらに

ボディ後部は

は武双窓と、

木工職人の心

意気と伝統技

術が随所に見

られる一味

違ったスー

パーカーが誕

生した、というわけです。

この自動車を開発した佐田建

美の佐田専務は、大日新聞記者

に「木の産地、岡山県真庭市

で生まれた木製スーパーカー

「真庭」「木で作れない物はない」

を合言葉に試行錯誤し完成させ

ました。

世界限定5台で販売中！（1台売れましたので、残り4台）ワクワクするような革新性のある製品を今後開発していきます！」と熱く語ってくれました。

物づくりの国と言われるこの日本には、夢を忘れない人がたくさんいるのですね。

全面を木で作った車なら、廃棄する時にも環境に優しく、これもエコカーと言えるでしょう。

株式会社 佐田建美

〒一九一三二五 岡山県真庭市中705



<http://www.koln32.jp>

ユニーク

街で見つけたエコグッズのご紹介

第1回は、太陽光エネルギーで繰り返し使える

「ソーラー式携帯電話充電器」

その中でも特にユニークな名称の「ソーラねこ」は、太陽光で内蔵バッテリーをフル充電しておいて、それから携帯電話を充電する装置。内蔵バッテリーからの急速充電により、携帯電話に20分程度の接続で約70%以上の充電ができるそうです。カラになった内蔵バッテリーへの電気の蓄電は無限のエネルギー。太陽光でOK。繰り返し使えるということなんです。

外出先で携帯電話のバッテリーが切れるとたちまち仕事にも支障が出ますし、特にコンビニなどが無い地方に出張の時は大変。使い捨ての乾電池充電器も売っているけれど、度々だと経費もかかりますから、こういう製品があるのは便利なのです。

2個購入すれば交代に使えるので自宅使用もすれば家計費の節約にもなるかもしれません。気になるのは製品の精度：

携帯電話自体が精密機器ですから、携帯電話に保存したデータが消えたり不具合が出たりなど、相性が悪い場合もあるのでしょうか？



そういった不安が解消されると、一気に大ヒットとなるかもしれませんね。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

編集後記

創刊のご挨拶

環境を配慮した商品設計の基本

「人にやさしく、地球にやさしい。」
当社の製品開発の根幹をなす理念ですが、まだまだ、多くの皆様にそれぞれの商品の優れた特性をご理解いただいてないと感じています。できるだけ多くの皆様に、当社商品の持つやさしさを、よく理解をしていただくたいと思ひ、この度、新聞を創刊する事になりました。

環境に配慮した商品だと言っても、カタログだけで、一概にうまく全部を伝える事は難しいものがあります。施工時に作業者にやさしい商品もあります。また、ヒートアイランドの緩和に役立つ商品もあります。商品の容器がゴミになりにくいものもあります。基本は商品設計をする時に、あらゆる角度から環境を考慮して設計し、商品に仕上げるというスタイル、そのものが大切だと考えています。また、環境に配慮した商品というには、製造時、施工及び作業時、完成後、年月経過後、廃棄物としても、いずれの時も人や地球にやさしい商品でなければなりません。そういう配慮がどこまでできているかも、注目されるべき視点だと思っています。20世紀はアスベストやPCBなど、長持ちするモノがよく使われまし



大日化成株式会社
代表取締役社長 小林 知義

た。が、これらは、皮肉にも長持ちする事自体が人に危なく、長期に人体に蓄積し、多くの人災を引き起こしてきました。そのような危（あぶ）な優れモノを多く使用した、耐久性に優れているという一方的な価値だけを追求するモノづくりが主流でした。21世紀の循環型社会を目指したモノづくりは、まず、人や環境にやさしく、その上で耐久性に優れているという二元的な価値を有し、どの部分から最初に壊れて、いつ頃、どうメンテナンスするかを設計に織り込んだ商品開発が求められる時代になってきました。

当社のそれぞれの商品がどのような理念に基づいて商品設計されたか、また、できなかったかを多くの皆様にご理解を頂き、カタログに書き込めない商品設計の苦労など知っていただければ幸いかと存じます。次回もご期待下さい。

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代) / FAX：06-6909-6702
●東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-2-11
TEL：03-3436-3801(代) / FAX：03-3436-3803



次号も
お楽しみに！

URL：<http://www.dainichikasei.co.jp>